

2 - 6 - 4 百間坂

江戸時代、大野藩の侍たちが城の本丸へ行くには、藩庁から亀山の山頂に通じる百間坂を必ず登った。今の百間坂以外の遊歩道は、明治時代以降に整備されたものである。藩庁や御殿（藩主の居館等）のあった二の丸は、いま、学びの里「めいりん」の敷地になっている。

右の小道を行くと、百間坂を通過して越前大野城に行く。

説明板より